

おしらせ 1 京都で環境保全活動にがんばって取り組んでいる市民や事業者を表彰する

第10回 京都環境賞 受賞者が決まりました！

おめでとう
ございます！



受賞内容	受賞者名
京都環境賞	京都ビオトープ研究会 いのちの森モニタリンググループ
特別賞（市民活動賞）	鴨川を美しくする会
特別賞（企業活動賞）	株式会社京都パープルサンガ
特別賞（環境教育賞）	京都市立東総合支援学校 高等部ワーク農園班
特別賞（バイオマス功労賞）	京都ペレット町家ヒノコ
特別賞（環境レポート賞）	公栄運輸株式会社
奨励賞	山科美化推進企業協議会



京都環境賞は、地球温暖化の防止や循環型社会の形成をはじめ、環境の保全を目的とした市民や事業者の皆様の自主的な実践活動をさらに推進するため、先進的な活動に取り組んでおられる方を表彰するものです。

平成24年度は、43件の応募があり、その中から特に優れた取組として京都環境賞、特別賞各賞及び奨励賞が選ばれ、平成25年1月31日（木）に市役所で表彰式を行いました。今回の受賞者の取組を御紹介します。



京都環境賞

京都ビオトープ研究会 いのちの森モニタリンググループ

テーマ

京都市梅小路公園「いのちの森」における
復元型ビオトープにおけるモニタリング活動
及び市民向け自然環境保全の啓発活動



梅小路公園内のビオトープ「いのちの森」において生物のモニタリング調査を実施するとともに、本市に管理方法の助言・提案を行うなど、街中での自然再生に取り組まれました。

また、自然の大切さを訴える市民向けの観察会などを通じ、市民への啓発も行っておられます。

トピックス

1. 第10回京都環境賞受賞者が決まりました
2. 平成24年度「まちかどいきものマップ」の優秀賞が決まりました
3. 京都市の環境アセスメント制度が変わります

発行 京都市環境政策局環境企画部環境管理課

京都市環境情報のバックナンバーはこちらから ⇒

京都市印刷物 第243185号

TEL. 075-213-0930 FAX. 075-213-0922

京都市環境情報

検索

特別賞 (市民活動賞)

鴨川を美しくする会

テーマ 河川環境保全活動・河川環境学習活動



長年にわたり、京都を代表する鴨川において、行政機関や様々な団体と協力して、美化活動や市民向けの啓発イベントを開催してこられました。また、鴨川流域の小中学校に出前授業等の環境教育活動など、市民への啓発にも取り組まれました。

特別賞 (企業活動賞)

株式会社京都パープルサンガ

テーマ DO YOU KYOTO? サンガプロジェクト

「京都議定書採択の地のJリーグクラブ」として高い環境意識を持ち、選手とファンが一体となって、ホームゲームにおいて、てんぷら油や小型家電の回収活動を実施しておられます。また、カーボンオフセットマッチを率先的に実施して、市内外へ環境に優しい取組の輪を広げるなど、啓発活動にも取り組まれました。



特別賞 (環境教育賞)

京都市立東総合支援学校 高等部ワーク農園班

テーマ 学校教育における環境・食育・防災・地域交流教育のシステムづくり



農園作業学習で、枯葉と給食残飯を利用し、リサイクル生産システムを構築して無農薬有機栽培を行っておられます。また、美味しく安全な野菜を地域に販売し、地域住民の環境意識の向上にも取り組まれました。

特別賞 (バイオマス功労賞)

京都ペレット町家ヒノコ

テーマ “まちなか” での木質ペレットのある暮らしの提案



実演・講演・ワークショップ等を通じて、木質ペレットや薪を燃料とするストーブやボイラーの普及に取り組んでおられます。また、バイオマス活用に取り組む団体と連携を図ることにより、市内の森林バイオマス利用の促進にも取り組まれました。

特別賞 (環境レポート賞)

公栄運輸株式会社



テーマ KES環境マネジメント活動

社内の取組にとどまらず、保育園等へ紙芝居を使った出前授業を行うなど、子供達の環境教育にも積極的に取り組んでおられます。

そして、取組をわかりやすく簡潔にまとめ、内容も豊富な模範となる環境レポートを作成し、企業の環境活動の重要性を社会に発信されました。



奨励賞

山科美化推進企業協議会

テーマ 山科美化推進企業協議会による河川美化活動

長年にわたり山科区内の主要4河川での美化活動や美化推進啓発活動、研修会等を行い、区民への啓発活動、企業間交流を図り、20年前まで魚も住めなかった川にホテルが飛び交うまで回復させる等、地域環境の改善に大きく貢献されました。



「まちかどいきものマップ」の優秀賞が決まりました！

京都市では、市民の皆様には、人と自然、地域と自然のつながりを再認識していただき、本市の豊かな自然を次世代に引き継いでいく行動を起こすきっかけとなる取組として、身近な自然度調査事業を実施しています。

その取組の一つとして、平成24年7月から11月まで、市内の小学校や児童館を対象に、地域で発見した生き物の情報を地図にした「まちかどいきものマップ」を募集しました。

お寄せいただいた52点の作品の中から選ばれました優秀賞と佳作の作品を御紹介します。

— 受賞者のみなさん —

【個人の部】（敬称略）

受賞内容	受賞者名（所属校）	マップの概要
優秀賞	のりたけ ひより 則武 日和（境谷小学校4年）	境谷小学校（西京区大原野西境谷町）周辺で季節ごとに観察したいきものをまとめました。
佳作	えなみ りさ 榎南 里彩（境谷小学校4年）	
佳作	きた あやみ 喜田 彩海（境谷小学校4年）	

【団体の部】

受賞内容	受賞団体	マップ名
優秀賞	とうなん そのじどうかん 塔南の園児童館	かものがわのいきもの うめこうじのいきもの
佳作	けいとくじどうかん 桂徳児童館	けいとくいきものマップ

— 受賞作品の紹介 —

【個人の部】（敬称略）

「カスタムシ」に「カワウ」など本物そっくりのさし絵やていねいな文章で、みんなの住んでいるまちのいきものの様子がとてもよくわかったよ！



のりたけ ひより
則武 日和（境谷小学校4年）



えなみ りさ
榎南 里彩 (境谷小学校 4年)



きた あやみ
喜田 彩海 (境谷小学校 4年)

【団体の部】



とうなん その
塔南の園児童館



けいとくじどうかん
桂徳児童館

みんなのまちでは、たくさんのいきもの
たちも一緒に暮らしているよ。
これからもっとたくさんのいきものと
出会えるといいね！
いきもの発見・観察を続けてみてね！



京都市の環境アセスメント制度が変わります！

事業の早期段階で環境保全のための配慮が必要になります

京都市では、「京都市環境影響評価等に関する条例の一部を改正する条例」を平成25年1月9日に公布し、平成25年4月1日から施行します。大きな変更点は以下のとおりです。

Q. 環境影響評価（環境アセスメント）とは？

大規模な事業の着手前に、あらかじめ自然環境や景観への影響などについて事業者自らが調べた結果を公表し、それに対して市民のみならず行政が意見を出しあい事業計画に反映させることによって、環境に与える影響ができるだけ少ない事業としていく仕組みです。

1. 事業内容の検討状況に応じて、環境アセスメント手続を下記の2段階に区分します。

計画段階環境配慮手続 New!

事業内容が固まる前に、環境への影響が少ない事業となるよう適正な環境配慮を検討する手続

事業アセスメント手続

事業を行う位置、事業規模等が確定した段階で、より詳細に周辺環境に与える影響を調べ、適正な環境保全措置を検討する手続

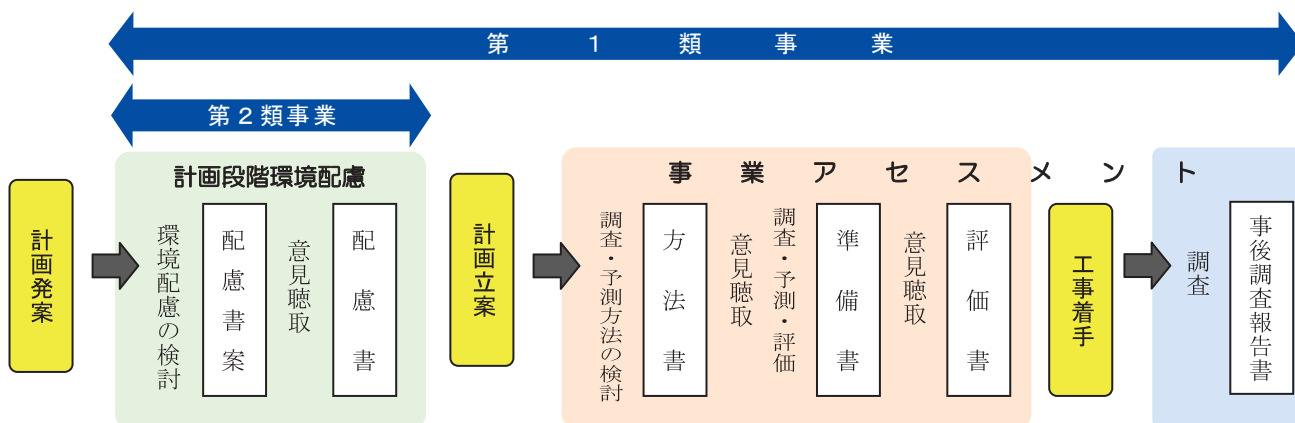
2. 事業の規模に応じて、規模の大きい第1類事業と、それよりも小規模な第2類事業 New! の2区分を設定し、第2類事業に対しては、環境影響評価手続の一部（計画段階環境配慮手続）を求めます。

3. 事業者が条例に基づき提出する図書はすべて、市の窓口で縦覧できるほか、インターネットによる公表 New! が行われます。

事業の種類の一例 <small>(注1)</small>	第1類事業	第2類事業
宅地の造成の事業（開発）	16ヘクタール以上 (一部地域は8ヘクタール以上)	4ヘクタール以上
建築物の新築	高さ31m超えかつ 延べ床面積5万㎡以上	延べ床面積2,000㎡以上 (公共等事業 <small>(注2)</small> に限る)

注1：今回の改定で変更された事業等から抜粋して示しています。

注2：京都市の事業又は市有地で行う事業をいいます。



注：大まかな手続の流れを示したものです。